



- 2 エッセイ／“おかね”を語る
お金と数への恋着を超えて 国際日本文化研究センター教授 磯田道史



- 4 インタビュー／扉を開く
田中 仁 株式会社ジンズホールディングス代表取締役 CEO
ビジョンが切り拓くビジネスと地域活性化の道

- 10 対談／守・破・創
木佐彩子 フリーアナウンサー
中川順子 日本銀行政策委員会 審議委員
自分の役割に全力を尽くして選んだ道をベストの道にする



- 14 日本銀行のレポートから (1)
「金融政策の多角的レビュー」—2024年12月—

- 17 地域の底力——埼玉県秩父郡横瀬町
多彩なチャレンジが扉を開く
埼玉県横瀬町

- 25 FOCUS → BOJ 49 日本銀行盛岡事務所
国内事務所の仕事～「盛岡」の例から

- 28 日本銀行のレポートから (2)
「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2025年1月—

- 30 日本銀行のレポートから (3)
「地域経済報告」(さくらレポート) —2025年1月—



- 31 トピックス
金融情報システムセンター(FISC)における植田総裁の講演(12月) ほか

- 35 AIR MAIL from London
ロンドンで流行する日本文学

表紙のことは
 日本銀行帯広事務所は、明治三十年（一八九七）に帯広派出所として北海道・十勝に開設されました。
 当地には、十勝平野開拓の使命を帯びた北海道集治監十勝分監が存在し、これに関連した諸経費や国庫金支払が役割でした。
 帯広派出所は、明治三十四年（一九〇一）三月に閉鎖されましたが、戦後の現金需要にこたえるべく昭和二十一年（一九四六）八月に、事務所として再び十勝に拠点を設けることになりました。
 表紙の店舗は、帯広事務所が開設当初に入居した旧安田銀行帯広支店の建物です。
 ローマ風様式で、半円の八本の柱に特徴がある白亜の美しい建物は、昭和四十三年（一九六八）から現在まで十勝信用組合の本店として活用され、街の景観を彩っています。
 帯広事務所（現在、J R帯広駅北口ビル内に入居）は、これからも地域経済の健全な発展に役立てるよう、日々の業務を遂行してまいります。
 裏表紙の写真は、十勝信用組合所蔵のもので、



表紙・画 北村公司